

三大英傑
×
笠谷和比古

桃山美術
×
奥平俊六

Enjoy!

KEIBUN文化講座特集

Culture and Study

ほんの少しの好奇心と最初の一步を踏み出す勇気—
扉の向こうにあなたの知らない素敵な世界が広がります

club keibun 11
2015 NOVEMBER vol.398

Contents

Enjoy! KEIBUN文化講座特集

01 心をもっと豊かに!
“知る”喜びを体験

新講師interview

長浜市長浜城歴史博物館館長 太田浩司
帝塚山大学文学部教授 笠谷和比古
大阪大学大学院教授 奥平俊六

06 Recommended File 今月のオススメ
アトリエ春 米原市

KEIBUN友の会会員特典のご案内

07 イベント/シネマ/アート/スポーツ/ゴルフ/
旅行/レジャー/健康/カルチャー/グルメ

25 プレゼント/Reader's Letters

●表紙【Amazing! Museum~感動空間への招待①】
ボストン美術館(アメリカ)

アメリカ独立100周年にあたる1876年に開館。エジプト美術、フランス印象派
絵画などが充実、仏画、絵巻物、浮世絵など日本美術の優品も多数所蔵してい
る。20世紀初めには岡倉天心が在職し、敷地内には日本庭園「天心園」がある。

心をもっと豊かに!
“知る”喜びを体験

知らないことを知る、喜び——その楽しさを覚えると、ますます知識欲が高まってくる。世の中にはまだまだ
知らないことがいっぱい。学べることもたくさんある。心を豊かにする新しい何かが見つかるかもしれない。
来年4月に開講するKEIBUN文化講座の3つの新講座を紹介しよう。

奥びわ湖
×
太田浩司



「知識は力なり」という。
しかし、
知識とは幸福だと思う。

「知識は力なり」は、イギリスの哲学者フランシス・ベーコン(1561~1626)の有名な格言。「読むことは人を豊かにし、話すことは人を機敏にし、書くことは人を確かにする」という言葉も残している。“奇跡の人”で知られるアメリカの教育家・社会福祉活動家ヘレン・ケラー(1880~1968)はベーコンの言葉をうけて「しかし、私は知識とは幸福だと思う」と語った。「幸せとは、視野の広い深遠な知識をもつこと。その知識とは、嘘と真実、低俗なものと高尚なものを見分ける力」とも。三重苦の障がいや背負い、それを克服した彼女が、幸福の意味を噛み締めた重い言葉ではないだろうか。学ぶ機会をみつけ、多くの知識で自分の感性に磨きをかけてみよう。



笠谷和比古

帝塚山大学文学部教授

「こ」 十数年の間、歴史認識は動き続けています。発掘のたびに歴史が塗り替えられる考古学同様、日本史もどんどん変化しているのですよ」と語るのは、新講座「三大英傑とその時代」で講師を務める帝塚山大学文学部教授の笠谷和比古さん。

今回のテーマは、波乱万丈の戦国時代にそれぞれ強烈な個性を放った三人の英傑、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康を取り上げる。講座の醍醐味は新たな資料から導かれた、最新の人物像や歴史的史実を知ることにある！

例えば、関ヶ原の戦い後の家康のふ

るまい。戦いに勝利しながらも、家康は豊臣家の家臣の地位のままであったという。さらに彼は秀吉の傘下にあった大名らに、大坂より西の領地を与えている。「当初の家康には豊臣家を滅ぼすという野心はありませんでした。家康は征夷大將軍となつて政権を立てますが、豊臣家の権威も尊重し、京都以西の西国は豊臣が、東国は徳川が分有統治するという二重国制を設けて、棲み分けによる共存路線を考えていたのです。この二重政権構想はバランスが取れて、うまくいくかに見えたのですが、やがて破綻の時を迎えざるを得な

教科書で習った歴史認識を塗り替える 「歴史」の現在を実感する！

くなります。それが大坂の陣に他ならないのですが、講座ではこの政治的メカニズムについて考えていきます」

今年は大坂の陣から400年となる記念の年。さらに来年のNHK大河ドラマ「真田丸」の舞台となるだけに、否応なしに興味を湧く。笠谷先生ならではの話術と視点に引き込まれること間違いなし。

「織田信長の革新性、超現実主義者の豊臣秀吉がなし得た天下統一の意味、そして徳川家康の法度（法）を用いることで権力を抑制する治政など、この三大英傑のそれぞれに際立った個性は、現代に置き換えた上でも参考になります。一人ひとりが各々の関心事に即して、また自分自身と照らし合わせながら考えてみる機会にしたいだけではないと思っています」。歴史を知ることとは膨大な情報を採り出し、そこから得たデータベースを活かし、新たな視点を見出すことにはかならない。「鎖国のイメージが強い江戸時代も、家康の時代は世界各国から訪れた外国人で満ちていました。それまでの歴史においても、最も国際色豊かで多産、豊饒な時代だったのです」と笠谷先生。改めて歴史の流動性を感じられる講義が待ち遠しい。

草津会場でスタートする

注目の新講座を徹底紹介!!

「長浜市は日本でも有数の歴史的資源がごろごろとついているところ。そのことに滋賀の人は気づいていないんです。観音巡りは東京の人の方が関心が高く、滋賀の人は木之本や高月の仏様を拝観することが少ない、あるいは竹生島に一度も行ったことがないという人も多い。貴重なものが身近にあるのに、もったいないですね」

例えば葛籠尾崎にある湖底遺跡に

知れば知るほど深まる魅力 神秘的な奥びわ湖地方の歴史を探る

は、縄文から平安時代までの遺物が眠っている。遺跡の形成過程や、土器などの遺物がほぼ完全な形で発見される理由など解明されていないことが多く、他に例をみない珍しい遺跡だ。

あるいは、なぜ湖北に観音像が多いのか？ 当たり前のように感じていることも、改めて考えてみると謎だ。

「己高山信仰の中心となる仏様が十一面観音であった影響ではないかといわれていますが、それで全て説明できるわけでもありません。湖南の比叡

山や三井寺などとはまったく違った形態で、村人が村のお堂でお祀りして守ってきたことなど、観音信仰の成立過程と伝来の仕方の謎についての試論を解説したいと考えています」と太田さん。

一つの地域を主題にして考古学や戦国の歴史、仏教美術などさまざまなジャンルから、長浜市歴史文化施設の学芸員がリレー形式でアプローチする、今までにないスタイルの講座。神秘のベールに包まれた奥びわ湖の謎にじっくり迫ってみたい。

太田浩司

長浜市長浜城歴史博物館館長



草津会場 37-11 三大英傑(信長・秀吉・家康)とその時代 午前・午後の連続講座(休憩あり)が2回。どっぷり歴史談義につかれます。

講師／帝塚山大学文学部教授 笠谷和比古

新講座

●講座内容 午前11:00~12:30/午後13:15~14:45

- 4月25日(月) 午前 信長と本能寺の変 ~歴史を変えた野望と軌跡~
- 5月30日(月) 午前 秀吉の天下統一 ~天皇制と国づくりの仕組み~
- 5月30日(月) 午後 豊臣政権の分裂 ~対立を生んだ秀吉の朝鮮出兵~
- 6月27日(月) 午前 関ヶ原の合戦 ~豊臣恩顧の武將と家康が同盟!?~
- 7月25日(月) 午前 大坂の陣 ~大河ドラマ「真田丸」を深読みする~
- 7月25日(月) 午後 家康と徳川幕府 ~これまでの家康像が変わる!~

笠谷和比古(かさや・かずひこ)

京大文学部史学科卒。文学博士。専門は歴史学、武家社会論。国際日本文化研究センター教授を経て現職。この間、ドイツ・ベルリン大学、中国・北京外国語学院、フランス・パリ大学等の客員教授を歴任。またNHK「その時、歴史が動いた」や「BS歴史館」などにもゲストコメンテーターとして度々出演。



草津会場 37-09 奥びわ湖の歴史と文化を語る~湖底遺跡・惣村・仏・合戦・街道~

講師／長浜市長浜城歴史博物館 館長 太田浩司 他

新講座

●講座内容 各10:30 ~ 12:00

- 4月14日(木) 中世の村「菅浦」と歴史と景観(館長:太田浩司)
- 4月28日(木) 葛籠尾崎湖底遺跡の謎(学芸員:牛谷好伸)
- 5月19日(木) 奥びわ湖「観音像」の魅力(学芸員:佐々木悦也)
- 6月 2日(木) 己高山の仏たち(学芸員:秀平文忠)
- 6月16日(木) 賤ヶ岳合戦と羽柴秀吉(学芸員:森岡榮一)
- 6月30日(木) 木之本宿と北国街道(館長:太田浩司)

太田浩司(おた・ひろし)

1961年東京都生まれ。86年明治大学大学院文学研究科(史学専攻)修了。同年から長浜市長浜城歴史博物館に勤務し、2014年から館長を務める。専攻は、日本史・近世史。戦国大名浅井の家臣団や村落統治のあり方について研究を行う一方で、数々の北近江に関する展覧会を企画。主な著書に「浅井長政と姉川合戦」(サンライズ出版)など。





第37期【春期】開講講座のご案内

期間／2016年4月～7月

11月12日(木)KEIBUN友の会受付開始 11月16日(月)一般受付開始

※お申し込みは電話、インターネット、もしくは24ページに添付の専用申込書を郵送かFAXでお送りください。

初回1回のみ(無料)

お試し受講OK

各講座先着10名様

詳しくは事務局までお問い合わせください

大津会場 ● 旧大津公会堂 共催／株式会社まちづくり大津

37-01

まちつむぎと“協育”
～子どもたちのための地方創生めざして～
同志社大学政策学部教授 井口 貢

地域の面白さにワクワクする子どもたち。生活の中で学び共感し合う大人と子ども(協育)。子や孫の世代に残すより良き「地方創生」を、事例をヒントに考えます。

開講日

各10:30～12:00
4月8日(金)・4月15日(金)・5月13日(金)・5月27日(金)・6月10日(金)・6月24日(金)

草津会場 ● しがぎん草津ビル

37-03

源氏物語のことばと心
京都橘大学教授 福嶋昭治

「源氏物語」には、現代の私たちにも十分通じる「心」が適切な「ことば」で表現されています。物語の流れを追いつつ、その「ことば」と「心」を味わいましょう。

開講日

各10:30～12:00
4月12日(火)・4月26日(火)・5月10日(火)・5月17日(火)・6月14日(火)・6月28日(火)

37-05

文学を通してみる近江の風景
旅行作家 西本棚枝

近江と関わりのある文学作品をきっかけに作家や作品をひもとく。近江の魅力ある風景、風土を再認識します。現地学習で物語に思いを馳せる講座です。

開講日

各13:30～15:00 ※現地学習1回含む
4月12日(火)・4月26日(火)・5月10日(火)・5月24日(火)・6月7日(火)・6月21日(火)

37-07

歴史にみるイスラム世界とヨーロッパ
京都外国語大学教授 堀川 徹

イスラム世界からヨーロッパへ押し寄せる難民・移民の波は、EU最大の社会問題となっています。イスラム誕生から現在に続く両者の関係を考えてみます。

開講日

各10:30～12:00
4月8日(金)・4月22日(金)・5月13日(金)・5月27日(金)・6月10日(金)・6月24日(金)

37-09

奥びわ湖の歴史と文化を語る
～湖底遺跡・惣村・仏・合戦・街道～
長浜市長浜城歴史博物館 館長 太田浩司 他

近江国の最北、越前国と境を接する奥びわ湖(旧伊香郡)は、独自の歴史と仏教文化に彩られた地域です。その魅力を長浜市の学芸員がリレーで解説し当地へ誘います。

開講日

各10:30～12:00
4月14日(木)・4月28日(木)・5月19日(木)・6月2日(木)・6月16日(木)・6月30日(木)

37-11

三大英傑(信長・秀吉・家康)とその時代
帝塚山大学文学部教授 笠谷和比古

戦国時代、天下統一の野望を抱いた三大英傑―織田信長・豊臣秀吉・徳川家康。歴史的な事象を新しい研究成果から読み解き、新たな人間像を発見します。

開講日

午前11:00～12:30／午後13:15～14:45
4月25日(月) 午前・5月30日(月) 午前・午後・6月27日(月) 午前・7月25日(月) 午前・午後

37-13

植物のふしぎなパワー
甲南大学理工学部教授 田中 修

本講座は2015年NHKカルチャーラジオ(全13回)の内容をもとに構成。「植物のふしぎ」や「植物の威力」を受講してくださった方も新たな内容を学んでいただけます。

開講日

各10:30～12:00
4月7日(木)・4月21日(木)・5月12日(木)・5月26日(木)・6月9日(木)・6月23日(木)

長浜会場 ● 長浜市曳山博物館 後援／長浜市、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団

37-16

城が語る日本の歴史
滋賀県立大学教授 中井 均

戦国武将たちはどのような城を築いたのでしょうか。現地に残された城跡の構造から探ります。

開講日

各10:30～12:00 ※現地学習1回含む
4月22日(金)・5月6日(金)・5月20日(金)・6月3日(金)・6月17日(金)・7月1日(金)

- 受講料／1講座全6回で 10,800円(税込。入会金不要) ※現地学習には別途参加費が必要です。※「初めての日本画」「日本画を楽しむ」は画材費(約10,000円)別途必要。
- 特典／滋賀銀行年金受給者の方は受講料金が9,800円となります。また、KEIBUN友の会会員の方は、「3,000円相当の割引」がご利用いただけます。

※原則、定員50名になりしだい締め切ります。お早めにお申し込みください。

特別講座

3回シリーズ

36-17

初心者向け写真教室(キホンのキから始めます☆) 対象:コンパクトデジタルからミラーレスまで
●平成28年3月16日(水)9:30～11:30、23日(水)9:30～12:00、30日(水)9:30～11:30

36-18

初心者向け写真教室(ステップアップコース) 対象:一眼レフ
●平成28年3月16日(水)13:00～15:00、23日(水)13:00～15:30、30日(水)13:00～15:00

●講師／田口葉子(日本写真協会会員)
●会場／しがぎん草津ビル
●受講料／6,480円(税込)
※年金受給者割引はございません
※プリント・額代(約1,500円)別途必要

受講申込受付 しがぎん経済文化センター文化講座事務局 TEL.077(526)0011

心をもっと豊かに!“知る”喜びを体験

草津会場でスタートする

Interview
新講師に聞く

注目の新講座を徹底紹介!!

「本」の絵画はめっちゃくちゃ面白い!アニメーションや漫画が世界中で流行っているのは、絵巻物の表現に見られる伝統技術がそのまますべて生きているからです。日本の絵画の本当の面白さを知ってほしい」と力強く話す大阪大学大学院教授の奥平俊六さん。日本美術史、中近世絵画史が専門で、来春から始まる新講座「桃山時代の美術」の講師を務める。

「明日どうなるか分からない戦国期の影響を残しながら、幕藩体制の強化による平和の訪れと抑圧を予感するのが桃山時代。価値観が大きく変転する可能性を抱く中で、新しいものが生み出されていきます」

例えば、伏見城や大坂城など巨大な城郭建築を建てる一方で、二畳の茶室待庵ができるように、相反する文化が豊臣秀吉をはじめ同じ時代の武将たちによって誕生する。城郭の対面所に飾る豪華な金碧障屏画が作られるかたわら、奥向きの部屋には水墨画で静かな世界観が表現される。その価値観の振れ幅の大

世界に誇る日本の絵画の面白さ 本物を見て、感じてほしい

「織田信長や秀吉、徳川家康といった天下人は、狩野派を御用絵師に使いました。その理由は金碧障屏画から水墨画まですべて描け、圧倒的な動員力で何百面もの絵を一気に仕上げられたから。戦国武将と同じように、狩野派は宮廷の御用絵師だった土佐派と戦略的に血縁関係を作って勢力を拡大します。室町から明治時代まで約400年続きました。絵画の流派が血縁を基盤に、これほど長く続く例は世界にありません」

奥平さんが研究・教育を行う上で重視しているのは、実際の作品を見に行くこと。今やデジタル機器の進歩で、映像や印刷物でも美術品を鮮明に見られるが、本物を自分の目で見るのが重要だという。今回の講座でも現地学習の機会を設けている。

「実物を見なければ大きさが実感として分かりにくく、色や質感も違う印象になります。やはり本物に出会って、リアルに感じてほしい。その際、知識や固定観念に縛られず、素直な心で向き合うことが大事です。この講座を手掛かりに、実際に作品を見に展覧会やお寺に足を運んでもらいたいですね」

草津会場 37-12 桃山時代の美術

講師／大阪大学大学院教授 奥平俊六

●講座内容 各10:30～12:00 ※現地学習には別途参加費が必要です。

- 4月 5日(火) 都市の自画像―洛中洛外図の世界―
- 4月19日(火) 狩野永徳と桃山の画家たち
- 5月31日(火) 一現地学習―京都国立博物館(平成知新館)の常設展示(未定)
- 6月 7日(火) 謎の画家、俵屋宗達
- 6月21日(火) 扇の中の絵画世界―南禅寺屏風―
- 7月 5日(木) カブキモノと阿国歌舞伎の図像

奥平俊六(おくだいらしゅんろく)

愛媛県生まれ。東京大学文学研究科(美術史学)大学院卒。専門は日本絵画史。とくに近世初期の風俗画、狩野派、琳派など。主な著書に「彦根屏風―無言劇の演出」(平凡社)「俵屋宗達」(新潮日本美術文庫)「すぐわかる人物・ことは別 桃山時代の美術」(監修・東京美術)「屏風をひらくとき―どこからでも読める日本絵画入門―」(大阪大学出版会)など。



大阪大学大学院教授
奥平俊六

